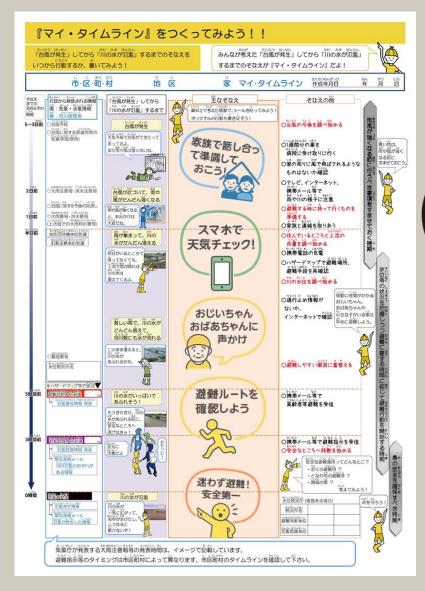
佐波川だより

2025 10月号

自分と家族を守る 「マイ・タイムライン」を作ろう

大雨や台風は毎年のように発生し、命に関わる災害を引き起こすことがあります。 避難の判断が遅れると、命を守る行動がとれなくなる危険があります。 そこで注目されているのが「マイ・タイムライン」です。 これは 「いつ」「誰が」「何をするか」 をあらかじめ考え、表にまとめておく "自分専用の防災行動計画"です。



事前の"知る"、"気づく"、"考える" で、いざという時の

"行動する"をスムーズに。

マイ・タイムラインがあれば・・

- 避難のタイミングが分かる
- 行動に迷わなくなる
- 家族や地域と共有できる
- 自分に合った備えができる



タブレット・PCでカンタンに作成できます

マイ・タイムライン作成サイトは こちら(約10分で作成できます) https://sonpobosai.jp/sonpo_digital_my_ti



過去の堤防決壊から見る、マイ・タイムラインの有効性を動画で解説

https://www.youtube.com/watch?v=AAqpYz-wHg8



まず先生へ、先生から生徒へ、そして地域へ 学校をきっかけに防災の輪が広がっています



先生がまず学ぶ



山口河川国道事務所の講師に よる研修では、洪水時の行動 やマイタイムラインの作り方 について学びます。

生徒につなぐ



学校での防災授業を通して、先生から生徒へ知識がつながり、生徒は自らマイタイムラインを作成し、災害時の行動を主体的に考えます。





地域へ広がる



生徒が身につけた防災の知識 は家庭や地域に広がり、家族 やお年寄りに伝わって、地域 全体の防災力向上につながり ます。

先生が学んで生徒に伝え、生徒から家庭や地域へ広がる。マイタイムラインの取組は、防災を"自分ごと"にするきっかけになっています。

- 編集後記 -

近年、災害は頻発・激甚化しており、地域の防災力向上が課題となっています。本取組では、国から先生へ知識が伝わり、先生が生徒を指導し、生徒が家庭や地域へ広げる流れが生まれています。

生徒がマイタイムラインを作成し、家族や高齢世代と共有することで「自分の命を守る」意識が芽生え、 共助の力も高まります。山口河川国道事務所では、この学びの広がりを通じ、佐波川流域の安心でき る地域づくりを進めてまいります。

事業について詳しくはホームページをご覧ください





最新情報などを配信しています er) Facebook In



Instagram



佐波川の情報を配信しています X(旧Twitter)



